



B コマンド

この章では、B で始まる、Cisco NX-OS ファイバ チャンネル、仮想ファイバ チャンネル、および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) のコマンドについて説明します。

bind

仮想ファイバチャネルインターフェイスにインターフェイスをバインドするには、**bind** コマンドを使用します。インターフェイスのバインディングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
bind interface {ethernet chassis-id/slot/port | port-channel channel-no | vethernet
veth-num}
```

```
no bind interface {ethernet chassis-id/slot/port | port-channel channel-no | vethernet
veth-num}
```

構文の説明

| | |
|--|--|
| interface | 仮想ファイバチャネルインターフェイスをバインドするインターフェイスを指定します。 |
| ethernet | 仮想ファイバチャネルインターフェイスを、指定されたイーサネットインターフェイスにバインドすることを指定します。 |
| <i>chassis-id</i> | ファブリックエクステンダシャーシ ID。シャーシ ID の範囲は 100 ~ 199 です。 |
| <i>slot/port</i> | イーサネットインターフェイスのスロット番号とポート番号を指定します。スロット番号は 1 ~ 255、ポート番号は 1 ~ 128 です。 (注) インターフェイスを仮想ファイバチャネルインターフェイスにバインドし、Cisco Nexus 2232P ファブリックエクステンダで Fibre Channel over Ethernet (FCoE) トラフィックをイネーブル化した場合、スロット番号は 1、ポート番号は 1 ~ 32 です。 |
| port-channel <i>channel-no</i> | 仮想ファイバチャネルインターフェイスを、指定された EtherChannel インターフェイスにバインドすることを指定します。EtherChannel 番号の範囲は 1 ~ 4096 です。 |
| vethernet <i>veth-num</i> | 仮想ファイバチャネルインターフェイスを、指定された仮想イーサネットインターフェイスにバインドすることを指定します。仮想イーサネットインターフェイス番号は 1 ~ 1048575 です。 |

コマンドデフォルト

ディセーブル

コマンドモード

仮想ファイバチャネルインターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|--------------|---|
| 4.0(0)N1(1a) | このコマンドが追加されました。 |
| 5.0(2)N1(1) | bind 、 description 、および shutdown コマンドは interface vfc コマンドから分離されました。 |
| 5.1(3)N1(1) | このコマンドのサポートが、ポートチャネルのメンバポートのバインドを許可するように拡張されました。 このコマンドのサポートが Cisco アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) に追加されました。 |

使用上のガイドライン

仮想ファイバ チャンネル インターフェイスにバインドするイーサネット インターフェイスまたは EtherChannel インターフェイスは、トランク ポートである必要があります。

仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを仮想イーサネット インターフェイスにバインドする前に、**feature-set virtualization** コマンドを使用して、スイッチ上で Cisco アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX) をイネーブルにする必要があります。

例

次に、イーサネット インターフェイスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 3 をバインドする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/1
switch(config-if)# switchport mode trunk
switch(config-if)# exit
switch(config)# interface vfc 3
switch(config-if)# bind interface ethernet 1/1
switch(config-if)#
```

次に、仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 2 を仮想イーサネット インターフェイスにバインドする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vfc 2
switch(config-if)# bind interface vethernet 100
switch(config-if)# exit
switch(config)# interface vethernet 100
switch(config-if)# bind interface ethernet 101/1/1 channel 5
switch(config-if)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| bind (仮想イーサネット インターフェイス) | インターフェイスを仮想イーサネットにバインドします。 |
| fcoe | ファブリック エクステンダで FCoE トラフィックをイネーブルにします。 |
| feature-set virtualization | スイッチで Cisco 仮想マシン機能をイネーブルにします。 |
| interface vfc | 仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを設定します。 |
| show interface vfc | 指定の VFC インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。 |

bind mac-address

MAC アドレスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイスをバインドするには、**bind mac-address** コマンドを使用します。インターフェイスのバインディングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

bind mac-address *mac-address*

no bind mac-address *mac-address*

構文の説明

| | |
|--------------------|------------------------------------|
| <i>mac-address</i> | MAC アドレス。EEEE.EEEE.EEEE の形式を使用します。 |
|--------------------|------------------------------------|

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

仮想ファイバ チャンネル インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

| リリース | 変更内容 |
|-------------|-----------------|
| 5.0(3)N2(1) | このコマンドが追加されました。 |

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature fcoe-npv** コマンドを使用して、スイッチ上で Fibre Channel over Ethernet (FCoE) N ポート バーチャライザ (NPV) がイネーブルであることを確認します。このコマンドには、FCoE NPV ライセンスが必要です。

例

次に、MAC アドレスに仮想ファイバ チャンネル インターフェイス 3 をバインドする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface vfc 3
switch(config-if)# bind mac-address 0050.3e8d.6400
switch(config-if)#
```

関連コマンド

| コマンド | 説明 |
|---------------------------|-------------------------------------|
| interface vfc | 仮想ファイバ チャンネル インターフェイスを設定します。 |
| show interface vfc | 指定の VFC インターフェイス、属性、およびステータスを表示します。 |